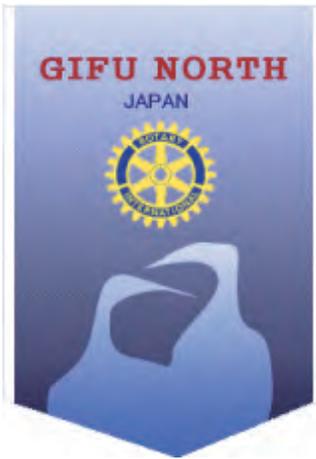


岐阜北週報



3月

識字率向上 月間

<input type="checkbox"/> 題字	永瀬 章	<input type="checkbox"/> 会長	永瀬 章	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	塚原 進	2008-2009
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	岡田 忍	No.1296
		<input type="checkbox"/> 委員長	山口 八郎	09.03.11 発行

前回の記録

第 1296 回例会 3/4 (水)
 慶祝行事
 クラブフォーラム (9)
 担当：米山奨学委員会

本日の予定

第 1297 回例会 3/11 (木)
 卓話
 「今どきの地価情勢」
 担当：小椋・小島

次回の予定

第 1298 回例会 3/18 (水)
 卓話
 担当：西垣・森本

会長挨拶 【永瀬 章 会長】

昨日は急に寒くなり曇も舞いましたが、日曜日は半袖でも過ごせるような暖かな日でした。梅林公園の梅も今が真っ盛りだそうです。私は日曜日は長良カントリーで満開の紅梅白梅を見てきました。あまりゆっくりと見ている余裕はありませんでしたが。梅林公園には、50種類の梅があり、白梅700本・紅梅600本があるそうです。園内全体では、満開を過ぎているようですが、遅咲種はまだ五分咲きだそうです。今週末の土日には、梅祭りが行われ各種イベントがあるそうですから、お出かけになられてはどうでしょうか。『梅は咲いたか、桜はまだかいな』と端唄にもありますように、梅が終わると桜のシーズンです。もう近くの山々はうっすらと赤みがかかってきていますから、今月末には咲き始めるのではないのでしょうか。

長良河畔では、一番最初に護国神社境内にある『鵜飼桜』と呼ばれている桜が開きます。一足早く咲きますから、きっと江戸彼岸桜だと思います。それから、一週間程経ちますと長良河畔の処々に桜が咲き誇り、多くの花見客で岐阜公園は賑わいます。桜の花が咲くと共に、行楽シーズンが始まります。

花を鑑賞する文化は中国から伝わったそうです。奈良時代には、中国伝来の梅が上流社会に愛されたそうで、「万葉集」の中では、梅の歌が桜の歌よりはるかに多く歌われてい

ます。ところが、都が京に移った頃からは、桜の花が日本の代表的な歌になりました。「古今和歌集」には、在原業平の『世中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし』、また紀友則の『久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ』など桜の歌が最も多く収載されていて、花と言えば桜をさすことになってきました。また花見も盛んとなり、秀吉の醍醐や吉野の花見遊山はそれは豪勢なものだったと伝えられています。花見はこの頃までは、上流階級のものでしたが、江戸時代に入ってから花見の文化は落語などでも取り入れられている「クマさん、ハツつんが上野の山で花見をする」様子が唄われているように、一般庶民の間でも盛んになってきたようで、現在も春に新入社員が早くから蓆を敷いて花見の場所取りをしているのは、春先の風物詩にもなっています。

北クラブでは、以前は四大夜間例会の一つとして観桜例会がありました。谷汲山へ行ったり、琵琶湖畔へ行ったりし、中でも京都泊で翌日は吉野まで花見に行ったことは、今でもしっかりと記憶に残っています。現在は予算の関係で観桜例会は行われていません。そこで私が会長就任の時、クラブ運営の基本方針として『楽しいクラブ創り』を掲げましたその一環として、例会とは別に手作りの『お花見』を有志で企画いたします。その折には、是非多数ご参加下さい。

みなさんこんにちは

私は中国の内モンゴル自治区から来ました中国人です。

モンゴルの名前はチチガと言います。花という意味です。

今日は自分の今研究していることを、ちょっと簡単に皆様に分かりやすい様に紹介します。

今、私は岐阜大学産婦人科の研究室で研究をしています。研究内容は、見た目は女性だけど実は男性だったという症例の研究です。アンドロゲンレセプタ遺伝子DNAの配列異変が原因でした。それは、アンドロゲンレセプタは男性ホルモン受容体です。これはX染色体にあります。普通の女性性染色体はXXなのに、患者さんは女性の姿なのに性染色体がXYになっていました。昔からこんな人はいました。でも恥ずかしかったり、みんなに知られたくないために病院に行かずにいることが多かったのです。女性なのに生理がない、腋毛が無い、子宮が無いなど、分からないまま女性として結婚してしまいました。これはDNAの塩基配列1個間違ったら、アミノ酸からできたタンパク質に異常が起きます。不完全な精巣女性症と呼ばれています。もし、塩基1個多い或いは1個少ない場合に、DNAの後ろの塩基配列が全部間違いますので、完全な精巣性女性化症になります。今は患者さんのDNAの並び方を調べ間違っているところが見つかりました。あとDNAからできたタンパク質でさらに確認している最中です。これが今私の研究している内容です。

アンドロゲンレセプタ遺伝子異変がわかれば、男性乳がん、前立腺がん、男性不妊症、生殖細胞腫瘍の初期の発現と関係していると思われます。もしDNA塩基配列の間違ってるところが判れば、異変を直して癌などのいろいろな病気の治療の可能性ががあります。

自分の故郷内蒙古を紹介します。

内モンゴルは中国の自治区で、朝青竜などの故郷モンゴル国で外モンゴルと呼ばれてて、昔は一緒だったので、1915年にモンゴル・ロシア・中国との間でキャフタ条約で、内モンゴルと外モンゴルに別れ、それ以降は別々の歴史を歩むようになったが、それまでの歴史はモンゴルとほぼ共通の歴史を持っていました。

現在内モンゴルは、漢族が80%以上を占め、その他にモンゴル族、ダウール族、回族、満州族、朝鮮族などが居住している。

また内モンゴル自治区のモンゴル族は、発表統計から400万人を超えているとみられるが、外モンゴルの270万人と比べると明らかに自治区内のモンゴル族の人口の方が多い。

中国語で：ネイモングー

【自治区首府 フフホト市 フフホトはモンゴル語で「青い都」の意味です。中国の内モンゴル自治区の首府で、日本の青森県とだいたい同じ緯度に位置しています。人口は100万人とも120万人とも言われているが、正確な数はわかりません。】

現在の人口のほとんどは漢民族であり、少数民族の占める割合は2~30%程度。市内にはチベット仏教で、モンゴル特有と思われる要素はあまりなく、市内の印象は日本国内の中規模な都市の印象とさほど変わらない。内モンゴルでは、看板等の文字の中国語への横にモンゴル語を書くのが義務付けられています。街中にあふれているモンゴル語を見ると、内モンゴルであること、フフホトであることを意識する。現在ではモンゴル文字は、外モンゴルでは使われなくなったため、外モンゴルから内モンゴルへモンゴル文字を学びに来る留学生もいます。日本から中国語、モンゴル語を学びに来ている留学生もいるようだが、フフホトに常駐する日本人はまだまだ少なく、4~50人と言われている。

最大都市 ウランチャブ市 今自分の両親が住んでいる都市です。

内モンゴルの面積 1,183,000km²

人口 2,377万人

漢民族-79% モンゴル族-17%

気候

ほぼ全域が大陸性気候だが、南北に長いので、冬は北で-30度、南で-10度と気温差が大きい。夏は北に位置しているため、比較的過ごしやすく、西部で25度、中北部で20度ぐらい。しかし、砂漠地帯では最高気温が40度を超える日もある。年間降水量も40~50cmと乾燥しているため、最近はよりいっそうの乾燥化が進み、干ばつが深刻な問題になっている。

地理

内モンゴルは中国の北部に位置し、北はモンゴル・ロシアと国境を接している。東北から南西に伸びる細長い地形。東北には標高1500mの大興安嶺山脈が南北に伸び、南の陰山山脈と黄河を境として、モンゴルから続く海拔1000~2000mの高原が広がっている。高原の大部分は草原だが、西にはパタンチリン・テングリ・ウランブハ砂漠がある。

資源

内モンゴルの広大な草原では牧畜が盛んであるが、以前のような遊牧のスタイルはほとんどなくなった。2002年には、放牧は乾燥化を招くとして、全面的に放牧が禁止された。現在では、集落に安住して牧畜をおこなうようになり、観光用を除いてはパオは見られなくなった。(パオは遊牧民の使う移動式テント。中国ではパオ、モンゴルではゲル、ロシアではユルタと呼ばれています。) 黄河沿いの平原では農業が産業、ジャガイモ・ゴマ・テンサイ・雑穀・小麦等を産地になりました。場所によっては、お稲作りも行われている。また大興安嶺では林業が盛んです。鉱物資源は石炭・鉄鉱が豊富で、包頭には巨大な鉄鋼工業がある。包頭は内モンゴル最大の重工業都市です。更に工場の排煙で、悪臭が街を覆い、中国でも有数の公害都市になっている。

交通面をちょっと紹介します。

交通面では、近年著しく発展して、交通網は2万キロを超え、高速道路はフフホト→包頭が開通し、フフホト→集寧→(建設中)→張家口→北京も一部区間を除いて完成した。国際列車が自治区内を走り、北京から二連浩特を経由してモンゴル・ロシアに入る路線と満州里を経由してロシアに入る路線があり、どちらもモスクワまでつながっている。そのため近年では国境貿易が盛んになった。

文化

ブフというモンゴル相撲、競馬、弓術はモンゴル民族のもっとも古い伝統競技である。チンギス・ハーン以前から軍事的訓練として利用されてきただけでなく、モンゴル民族の精神世界と深くかかわり、日常的娯楽としても根強い文化的伝統を持っている。今日では、モンゴル各地のオボー祭りやナーダム祭りを主な伝統母体として、モンゴル人を強化に重要な役割を果たしている。特にブフは各種の全国的スポーツ大会の競技種目としてスポーツ化され、オリンピック種目入りを目指す働きもあるほどで。しかし、近年では、それは一つの特異なスポーツとしてしか見られず、その他の多くの伝統ゲームはすでに喪失され、人々の記憶から消え失せてしまっていることも事実です。

食べ物

羊肉多いです。羊料理の中で一番有名な「シュツパニク」とあります。醤油の様なタレをつけて食べるとおいしいです!! 一番の人気は羊の丸焼きです。羊の丸焼きは、一匹丸焼きにするのに4~5時間かかります。10人分ぐらいです。一人150元ぐらいで、日本円で2,000円ぐらいです。

医療

内モンゴルの大部分の土地は砂漠に覆われ、居住環境は極めて悪く、医療設備がとりわけ不足している。内モンゴル地区では、現在約40万人の児童が医療薬の欠乏状態の中で生活しており、そのうち20万人の児童が予防接種を全く受けていない。また、約70万人の児童が栄養不良で、100万人の児童がビタミンA不足である。医療保険の不備が児童の健康増進に深刻な影響を与えている。